

## ■目次

地勢	3
気候・人口・概況	4
農業	5
水産業	6
林業	8
商工業	9
エネルギー	10
環境・生活	12
観光	13
交通・運輸	16
サハリン交流・多分化共生	18
防災・消防	19
保健・医療	20
社会福祉	21
教育	22
市町村の姿	23
イベントカレンダー	28
施設開館情報	31

## ■沿革

明治 2年 7月	北海道開拓使設置 判官武田信順が開拓使宗谷出張所勤務
明治 5年 9月	札幌開拓使庁が札幌本庁と改められ、宗谷に支庁を設置
明治 6年 2月	宗谷支庁廃止、留萌支庁の管轄に編入
明治 8年 3月	留萌支庁を廃止し、札幌本庁に統合 宗谷に開拓使出張所 利尻・礼文に派出所、枝幸に郡総代を配置
明治12年 7月	郡役所制度を設置 宗谷地方は宗谷・枝幸・礼文・利尻の4郡役所を設置
明治15年 2月	開拓使を廃止し、三県を設置 宗谷支庁は北見国に属し、札幌県の行政区域に入る
明治19年 1月	三県廃止 北海道庁を設置
明治21年 9月	宗谷に置かれていた郡役所が稚内村に移転
明治30年11月	郡役所制度廃止 宗谷支庁設置(現稚内市中央)
明治44年 5月	大火により庁舎焼失
明治45年	新庁舎を同住所に建築
昭和30年10月	宗谷支庁庁舎を稚内市大黒に新築移転
昭和62年12月	宗谷合同庁舎を稚内市末広に新築移転
平成 9年11月	宗谷支庁開庁100年
平成22年 4月	宗谷総合振興局に移行 幌延町が編入

## ■宗谷の由来

宗谷岬の北にある弁天島はアイヌ語で「ソーヤ シュマ」と呼ばれていた。

また、「岸の海中に岩の多い所」をアイヌ語で「ソ(ショともいう)・ヤ」と呼んでおり、これが「ソーヤ」の由来とされている。

宗谷岬より望む朝日(稚内市)

### 掲載データについて

※表示単位に満たない数値は四捨五入しているため、内訳の集計が合計欄の数値と一致しない場合があります。